

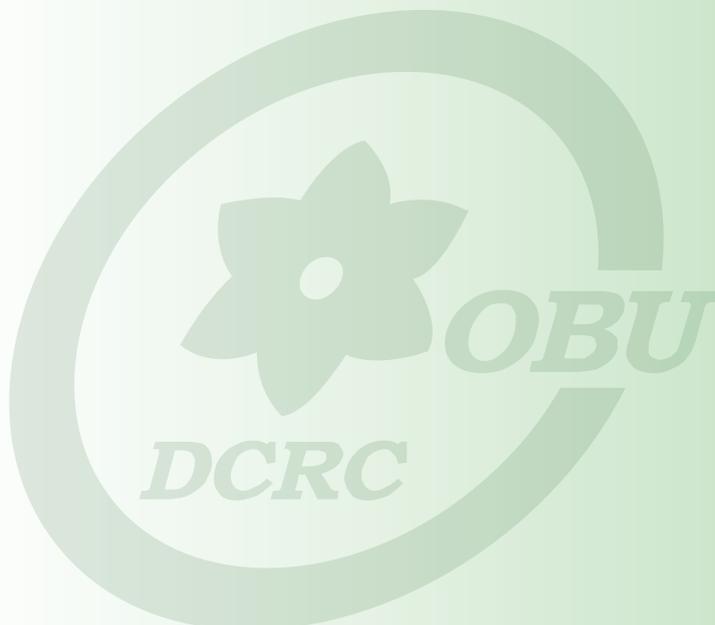


社会福祉法人 仁至会
認知症介護研究・研修大府センター



若年性認知症コールセンター

2017年  報告書



はじめに

世界の中で高齢化の歩みが際立って高い日本では、加齢に伴い発症する認知症の増加も欧米に比べて著しい。団塊の世代が75歳以上になる2025年には認知症高齢者は約700万を超え、65歳以上の高齢者の5人に1人を占める見込みである。こうした状況に対する国の施策が認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）であり、その核になるのが地域包括ケアシステムである。これは要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するケアシステムである。

国の施策として2009年10月に認知症介護研究・研修大府センターに設置された全国で唯一の「若年性認知症コールセンター」には、全国各地から様々な相談が寄せられている。このたび刊行する「若年性認知症コールセンター2017年報告書」は、認知症の人やその家族の視点を知る上でも有用である。その内容を見ると、2010年には1055件だった年間の相談件数は、2015年には2240件に達し過去最高になったが、新オレンジプランに基づき都道府県に若年性認知症支援コーディネーターが配置されることになった2016年には1681件に減少した。しかし、2017年の相談件数は1629件で前年とほぼ横ばいであり、「若年性認知症支援コーディネーター」の配置が進んでいるとは言え、当コールセンターにも多くの相談が寄せられている。また、相談者は2017年は本人が47.9%と最も多く、介護者を上回った。ご本人からの相談が多いことは若年性認知症の特徴の1つと言え、ご本人やご家族の思い、日頃の生活上の課題など、切実な生の声が凝縮されている。認知症の人やご家族の視点に立ち、寄り添い、ご本人やご家族の生活を考えていくコールセンターの意義は大きいと考えている。そのほかの相談全体の傾向に大きな変化はなかったが、認知症の告知や介護保険認定の割合は増えており、若年性認知症に対する理解と制度利用が進んできていると考えられる。

本報告書が若年性認知症のご本人やご家族ならびにそのケアに関わる人たちの情報源として、今後ともお役に立ち、認知症ケアの向上に少しでも貢献できれば、望外の幸せである。

2018年3月

社会福祉法人仁至会 認知症介護研究・研修大府センター
センター長 柳 務

CONTENTS

はじめに

I 若年性認知症電話相談の概要

1. 若年性認知症電話相談とは

1) 対象地域	2
2) 相談形態	2
3) 相談時間	2
4) 電話相談員	2

2. 2017年の主な活動

1) 内部研修	2
2) 外部研修	3
3) 見学研修	6
4) 広報活動	7

II 若年性認知症電話相談の実態

1. 全体の状況

1) 月別相談件数	10
2) 発信地域	10
3) 相談時間	11
4) 相談形態	12

2. 相談者の状況

1) 相談者の内訳	12
2) 親族からの相談者の内訳	13
3) 相談者の性別と年代	13
4) 複数介護者の割合	14
5) コールセンターを知った媒体	15
6) 相談回数	15

3. 介護対象者の状況

1) 性別と年代	16
2) 介護対象者の暮らし方	17
3) 配偶者の有無と子どもの数	17
4) 認知症の診断の有無	18

5) 「認知症の診断あり+濃い疑い」の場合の相談者	19
6) 気づきから受診日まで、および受診日から相談日までの年数	19
7) 告知の有無	20
8) 合併症の有無	20
9) 社会資源の利用状況	21
10) 介護保険申請状況	22
11) 介護度	22
12) 介護サービスの利用状況	23
13) 虐待とBPSDの内容	24
14) BPSDの有無と介護サービス利用状況	24
15) 相談内容と主な相談内容の相談者	25
16) 介護度と介護の悩みに関する相談内容（複数回答）	26

4. 相談員の状況

1) 相談員の対応	26
2) 相談の難易度	27
3) 傾聴の度合い	27

5. まとめ

Ⅲ 相談事例

1. 受診について	32
早期受診につながった事例・早期受診にいたらなかった事例	
2. 就労関連	38
就労中・退職時・退職後の事例	
3. ご本人とご家族の居場所	48
4. ご本人の声・思い	50
5. その他の事例	53
介護・ご近所とのトラブルなど	

Ⅳ 若年性認知症コールセンターとして相談を受けること

若年性認知症コールセンター 室長 加藤 ふき子

V 若年性認知症の人と認知症カフェ 74

—若年性認知症の人や家族を中心とした認知症カフェの特徴とは？—

認知症介護研究・研修大府センター 研究部 齊藤千晶

VI 資料 78

従来の資料

ホームページの利用の仕方、お役立ち情報